



導入事例

東京都市大学 Tokyo City University



課題：

東京都市大学の三宅教授の研究室では、研究進捗の共有、共同研究者とのディスカッション、発表練習など、ハイブリッド形式での会議を日常的に行っています。しかし、遠隔から参加する際に、特に声の小さい参加者の発言が聞き取りづらく、音声品質に課題を抱えていました。PC内蔵マイクや卓上マイクでは音声が明瞭に拾えず、不要な環境音を拾ってしまう、あるいは手動での調整が必要になるといった問題が発生し、コミュニケーションの妨げとなっていました。こうした制約は、研究室の高いコラボレーション性を損なう要因となっていたのです。

ソリューション：

これらの音声課題を解決するために、同研究室ではSennheiserのTeamConnect Ceiling Medium (TCC M) とTeamConnect Bar (TC Bar) を組み合わせたソリューションを導入しました。このシステムは、会議室全体の音声を高品質かつシームレスに收音でき、マイクの操作や調整の手間を解消しました。天井設置型のTCC Mは、発話者の声を正確に拾い、ノイズとの分離性能にも優れています。一方、TC Barは、バランスの取れた音質を提供するとともに、内蔵DSPとPoE (Power over Ethernet) によって、シンプルな設置とシステム統合を実現しました。これらの機器の組み合わせにより、研究室内外の参加者にとって、より快適でプロフェッショナルなハイブリッド会議環境が整いました。

導入概要

導入製品	TeamConnect Bar, TeamConnect Ceiling Medium
国	日本
選定理由	天井設置型のデザイン、自動話者追尾機能、そして卓越した音質により、ShureやBoseといった競合他社製品を凌駕しています。